ニフランマツソン領袖）等英傑ノ力ニヨリ、急速ニ伊太利統一ノ實ヲ擧ケタルカ、右伊太利統一主義者ハ、元來、フラン。マツソン自由主義ニシテ、カトリツタ排擊ノ政策ヲ標傍セルノミナラス、伊太利統一完成ノ爲ニ、ローマ法皇領ノ存在ヲ不利トナシ、一八七〇年、遂ニ兵力ヲ以テ法皇領簒奪ヲ敢行セリ。而シテ伊太利ノ法皇領簒奪ニ就テハ、フランスノナポレオン三世ノ干渉アリタルモ、ナポレオン三世ガ普佛戰爭ニ一敗地ニ途レタル爲、サルヂニア王ノローマ併呑ハ容易ニ完了シタル次第ナルカ、伊太利王ハ法皇ノ地位ニ付テハ万國カトリツク者ノ反對ヲ慮リ、其ノ不可侵的身分ヲ保障スルコトトシ、所謂「保障法」ナルモノヲ發布セリ。乍然、右保障法ハ、伊太利國内法ニシテ、ローマ法皇ヲ以テ伊太利臣民トシテ其ノ地位ヲ保障スル次第ナレハ、ローマ法皇側ニ於テハ絶對ニ之ヲ容認スルコトナク、飽迄『何國ニモ依據セス、如何ナル世俗權ニモ利用サレザル地位、身分ヲ必要トスルコト』ヲ主張シ、之カ爲ニローマ法皇ノ

主權問題ハ、其後永ク、歐洲カトリツク者及非カトリツク者間ノ重要案件トシテ未解決ノ儘ニ打チ過キタリ。（註、一八七〇年以後ニ於テモ、ローマ法皇ハ多數國家ト大公使ヲ交換シ、コンコルダータ（教法協約）ヲ締結シ、國際法上、特殊ノ地位ヲ占メッツアリタリ。）然ルニ大戰後イタリーハ、ムツソリーニノフアツシズムニ仍リテ强固ナル政治的統一ヲ遂ケ、ムツソリーニハ當初カトリツク抗爭ノ態度ヲ示シタルカ、其後伊太利ノ精神的統一ノ爲ニカトリツク擁護ノ絶對的必要ヲ痛感シタルモノノ如ク、一九二五年、カトリツクヲ以テ伊太利國教ト認メ、次イテローマ法皇ト接渉ノ後、一九二九年二月十一日ラテラン條約及ラテラン。コンダータヲ締結シテ、ローマ法皇ヲ國際法上ノ一主權トシテ承認シ、此處ニヴァテイカン市國ノ出現ヲ見タリ。尤モ右ヴァテイカン市國ハ四十四エーカーノ面積ニ過キス。眞ニ只、ローマ法皇カ其ノ聖權ヲ行使スルカ爲ニ、身体上、行動上ノ絶對不可侵乃至至上獨立ヲ保持スルノ必要ニ應ス

ルノミニシテ、素ヨリローマ法皇カ、世俗的主權擴張ノ爲ニ何等ノ領土的野心ヲ有スルモノニ非ルコト論ナク（註、、、現教皇ピオ十一世紀ハ、常ニ教皇ノ政治的問題不關與ノ根本方針ヲ宣明シツツアル處、右ラテン條約締結ニ際シテモ『教會當局ハ何等領土的野心ヲ有スルモノニ非サル所以』ヲ聲明セリ。）事實上、一兵一砲ヲ有セザルヴァテイカン市國ニ於テ、他ノ現世國家ノ抱クカ如キ現世的勢力擴張ノ意圖アリ得ベシトモ思ハレズ。（註、、、然ルニプロテスタント諸派及フラン。マツソン。社會主義。共產黨等反カトリック派ハ、擧ツテ、ローマ法皇ノ領土的野心乃至世界征服ヲ逆宣傳シツツアリ。尤モローマ法皇ノ領土的野心ニ付テハ、其ノ余リニモ迷妄ナルコト論ヲ待タスト雖モ、世上或ハ基督教ノ思想的世界征服ヲ云爲スルモノナキニ非ズ。乍然、「思想的征服」トハ何ヲ意味スルヤ、全ク諒解ニ苦シム處ニシテ、惟フニ人間思想ハ絶ヘザル向上ノ一途ヲ辿リツツアルモノニシテ、一國文化亦常ニ向上發展ノ大道ヲ濶步

セザルベカラズ。即チ個人モ、社會モ、從ツテ如何ナル國家モ、眞ナルモノ、善ナルモノ、美ナルモノハ之ヲ攝取、融合シ、非ナルモノ、邪ナルモノ、醜ナルモノハ之ヲ排泄シ、以テ不斷ノ向上ヲ期スヘキモノニシテ、此ノ意味ニ於テ若シローマン。カトリックニシテ眞、善、美ナル天啓宗教ナリトスレバ、世界万國、万民其ノ眞理ヲ拘ンデ以テ自國社會、文化ノ發展ヲ計ルベキコトハ當然ノ事ニ屬シ、之ヲ各國側ヨリ云ヘバ、眞理ノ獲得ハ人類ノ天權ナリト稱スベキナリ。然ルニ右ヲ以テ基督教ノ文化的思想的世界征服ナリトナスニ於テハ、現代文明國家ハ悉ク憐ムベキ被征服國家ト謂フベキノミ。抑々眞理乃至善キ思想ノ領域ニ於テハ、征服、鬪爭等ノ文字ヲ弄スルコトハ斷ジテ許スベキニ非ズ。思想的征服乃至戰爭等ノ語ハ畢竟スルニ墮落セル唯物論者ノ文字的惡戯ニ外ナラズ。吾人ハ歐米十九世紀的腐敗思想ノ文字的惡戯ニ戒心シ、以テ彼等ノ放ツ思想的毒素ニヨリテ、却ツテ「眞理」ノ光ヲ見誤ルコトナキヲ要スベク、之、

教皇使節

筆者ガ、敢テ此處ニ蛇足ヲ加ヘタル所以ナリ。）

二、如右ローマ法皇廳ハ、現在國際法上ノ一國家トシテ、歐米諸國家ト大公使及使節ヲ交換シヲリ、一九三二年教皇廳年鑑ニ據レバ、ヴァティカン市國ト外交使節ヲ交換セル國家ハ、大使十一名、公使以下二十三名合計三十四ケ國ニシテ、一方ヴァティカン市國ハ上掲三十四ケ國ニ夫々外交使節ヲ派遣スル外、正式ノ外交使節ニ非ザル教皇使節ヲ二十六ケ國ニ派遣シツツアリ。而シテ右交際諸國ハ、必スシモカトリック教國ト限ラズ、イギリス及北歐諸國ノ如キプロテスタント國アリ、バルカン諸國ノ如クギリシヤ教國アリ、其他宗教關係ニ於テカトリックト關係極メテ稀薄ナル國家サヘアリ（註、ヴァティカン國トノ使節交換國一覽表ハ附屬第二參照）

尙、ローマ教皇使節ノ位階ハ㈠教皇大使（アポストリック。ヌンシオ）㈡教皇公使（アポストリック。インテルヌンシオ）㈢教皇使節（アポストリック。デレガーテ）ノ三種アリ。前二者ハ外交的使節

ト宗教的使節トヲ兼ネ、ヴァティカンニ外交使節ヲ派遣セル國ニ對シテノミ派遣セラレ、其ノ三、教皇使節ハ純然タル外交使節ニ非ズシテ、赴任國ノ政府トカトリック教會ノ關係事項トニ付テ交渉ノ任務ヲ有スル處、歐米諸國殊ニカトリック教國ニ於テハ、長年ノ慣例トシテ、教皇大使ハ常ニ外交團ノ首席ヲ占ムルコトトナリヲレリ。尤モ教皇國家（ヴァティカン市國）ハ聖權ノ本質上、純然タル宗教的、道義的國家ニシテ、一般現世的、政治國家ト其ノ性質ヲ異ニシヲリ、從ツテ教皇國トノ外交關係ハ、主トシテ宗教事項ニ關スルコト勿論ニシテ、政治事項ハ唯、右宗教事項ニ附隨シ若クハ直接關係アルコトニ限ラレ、事實、世界大戰後、國際聯盟ノ樹立ニ際シ、ローマ教皇廳モ之ニ加盟ヲ勸請セラレタルカ、教皇廳ハ『世俗國家トノ政爭渦中ニ誘致セラレルコトヲ憂慮シテ』聯盟加入ヲ拒絕シ、但シ聯盟側ヨリ宗教、道德ノ問題ニ關シ質問セラルル場合ニハ、之ニ應答スルノ用意アル旨ヲ回答セリ。（註、、右趣旨ハラテラン條約、

教法協約

第二十四條ヲ以テ確言セラレヲリ、但ローマ教皇廳ハ、聯盟加入國家カ一致シテ、特定問題ニ關シ、ヴァティカンニ仲裁ヲ請願スル場合ニハ、之ニ應スル準備アリト言明セリ。）

三、而シテローマ法皇ト現世國家トノ國際法的意志締約ハ、教法協約（コンコルダータ）ト稱シ、各現世國家内ニ於ケル聖權ノ地位乃至關係、即チ聖職者及教會ノ地位。職能。及布教、教育ノ自由等ノ保障。教會財產關係等ノ外、信者ノ國民的權利義務ト、信仰上ノ權利義務トヲ規定シ、以テカトリック信仰ノ統制ト發展トヲ安全ナラシメツツアリ。尤モ右教法協約ハ、現世權（主權）間ノ合意タル條約トハ其ノ性質ヲ異ニシヲリ、右ニ付、學說ヲ三大別スルヲ得ヘク、(一)ハ所謂「法制說」リーガル、セオリーニシテ、國家ハ教會ノ上位ニアルヲ以テ、教會ト對等ノ協約ヲ結ブニ非ス。教法協約ハ、國家カ教會ニ對シ一定ノ權益ヲ認メタル國内法制ニ外ナラストナス說ニシテ、(二)ハ所謂「合意說」コンパクト、セオリーニシテ、協約ヲ以

テ双方契約ナリトナシ、教會ト國家トヲ全ク同地位ニ置キ、教法協約ヲ以テ國際條約ト同視スルモノナルガ、其ノ(三)ハ「權益說」ブリビレッヂ、セオリーニシテ、聖權優越主義ニ立脚シ、教法協約ハ單ニ現世權者側一方ノ義務ヲ現ハスモノニ外ナラス、教會ノ權利ハ總テローマ法皇ヨリ附與セラレタル權益又ハ讓渡ニ外ナラストナス次第ナルガ、右學說ノ分裂ハ、要スルニ、聖權ト現世權トノ關係ニ付テノ哲理ノ相違ニ基キ、從ツテ教法協條ノ實施及解釋ノ點ニ付テモ、三者著シク見解ヲ異ニスルヲ免レス。

何レニセヨ教法協約ノ起源ハ、一一二二年法皇カソストウ二世トドイツ皇帝ヘンリー四世トノ間ニ結バレタルパクトゥム。カリスクテイスゥム（又ハウォルムス協約トモ云フ）ニ在リ。蓋シ教會初代三世紀間ハ、ローマ皇帝ノ迫害時代ニシテ、兩者間ノ協定問題ノ如キハ發生ノ余地ナク、續イテローマ皇帝ノ教會公認以來ハ、現世權ハヨク教會ヲ尊重保護シ、）一轉、西ローマ帝國カ北方蠻民ノ侵入ニ

ヨリテ滅亡シタル後ハ、教會側カ現世權ヲ宗教的ニ教化援助スルノ立場ニ在リ。從ツテ右全期間ヲ通ジテ協約締結ノ必要ヲ見ザリシ次第ナルカ、其ノ後、現世權ノ强大化ニ伴ヒ、諸君侯殊ニドイツ皇帝ト法皇トノ抗爭激化シ、十一世紀末葉ヨリ兩權ノ葛藤極メテ深刻ナルモノアリ、此處ニ所謂「教法協約」ノ必要ヲ見ルニ至レリ。而シテ其ノ後モ兩權ノ抗爭ハ緩和ノ道ナク、ドイツノカロルビンゲン王朝倒レテ後ハ、フランス。オーストリア等ノ君主權相續イデ歐洲ニ威勢ヲ張リ、何レモ法皇權ニ對シテ現世權干涉ヲ實現セムト努メ、殊ニ十六世紀宗教革命以來、法皇權從ツテ各國教會ノ地位愈々脅威ニ直面スルコトトナリ、十八世紀末期ノフランス大革命ハ、國家思想ノ一大變遷ト共ニ、聖權ノ感念ニモ革命的動搖ヲ齎ラシ、教法協約ノ必要痛感セラルルニ至レリ。サレバ十八世紀以前ニハ六箇ノ教法協約アリタルニ過ギザルニ、十九世紀ニ於テハ十五ヲ數ヘ、二十世紀ニ及ンデハ、歐米諸國中純然タルプロテスタント國家（スエー

デン。ノルエー等）ヲ除キ、他ハ殆ト例外ナク教法協約ヲ制定スルノ有様ナリ。（註、、、、現在有効ナル教法協約ハ、大戰前締結ノモノ六ケ、大戰後ノモノ一〇ケ以上ナリ。）而シテ近代的教法協約ハ、其ノ範ヲ一八〇一年ナポレオン、ボナパルトトピオ七世間ノ教法協約ニ採リ、其ノ細目ニ付テハ、各國國情及締約年次ニヨリテ幾多ノ相異點アルモ、何レモローマ教皇カ國際團体ノ一主權タルコトヲ確認シ、且自國内ニ於ケル信仰自由。カトリック教會ノ尊重保護ヲ規定シヲレリ。抑々一八〇一年ノ教法協約ハ、フランス大革命ニヨリテ君侯、貴族ノ特權及財産ト共ニ、教會ノ特權及財産蹂躙セラレ、信仰ノ脅威甚ダシカリシヲ以テ、大奈翁ハ『一國治安維持ノ爲ニハ信仰ノ復興ヲ絶對ニ必要トス』ト主張シ、自ラ進ンデローマ法皇ト締結ヲ交渉シタルモノナルガ、其ノ根本精神トシテ、佛蘭西政府ハ『カトリック教ヲ以テフランス人多數者ノ信仰』ト認メ『國家ノ宗教』トハ認メス。但シ『ローマン。カトリック教ハフランスニ於テ

自由ニシテ、政府カ公安ニ必要ト認ムル警察法規ニ準據シテ、公ニ宗教儀式ヲ行使スルコトヲ得ル」旨ヲ規定シ、革命時代ニ破壞侵害セラレタル教會財產ノ復興、及法皇ノカトリック教會統制權ノ回復ヲ認メタリ。

然ルニ大奈翁ハ一八〇二年四月、所謂「組織法」ヲ發布シテ教法協約ノ精神ニ抵觸スル幾多ノ規定ヲ設ケ、教會側ト政府側トノ紛議ノ種子ヲ殘シタルガ、何レニセヨ教法協約ハ、フランスニ於ケルカトリック復興ト、教會權ノ伸張ニ偉大ナル貢獻ヲナセルモノト云フベク、尙當時、法皇ノ教會統制權ニ關シジョセフィニズム（國權至上主義）トフェブロニアニズム（反國家至上主義）トノ論爭アリシカ、ナポレオンハ之ニ對シテ却ツテ教會側ノ有利ニ解決ヲ與ヘタリ。然ルニ其後、フランスガ反カトリック的勢力フラン。マツソン及社會黨ノ勢力ニ仍リテ共和政體樹立トナルヤ、共和政府ハ事每ニローマ法皇ノ權力侵害ヲ企圖シ、一九〇五年十二月九日ノ法律ヲ以テ政教

分離ヲ宣言シ、政府ハカトリック教會ヲ單ナル文化團体トシテ認ムルコトトシ、公民教育機關ヨリカトリック司祭ヲ驅逐シ（所謂「政教分離問題」）ローマ法皇ト正面衝突ヲ惹起セリ。尤モ其ノ後、世界大戰後新タニ教法協約ヲ締結シ（一九二一年）目下ノ所、兩者ノ關係小康ヲ見ツツアリ。尚最近ニ於ケル教法協約ハ、一九二九年伊太利、ヴァティカン間ラテラン教法協約。一九三四年獨逸及西班牙トノ教法協約等ニシテ、何レモ最近ニ於ケルファッシズム國家トカトリック教會トノ關係ヲ規定セルモノトシテ注目セラレツツアリ。

第四節　國際政治ニ及ボスローマ法皇ノ影響

緒說

(一)緒說、、、、政教分離思想、、、、政教融合論、、、、

(二)基督教的理想政治、、、、結論的考察

ローマ法皇ハ萬國三億五千萬以上ノカトリック信者團体ノ宗教的首長ニシテ（註、、、、カトリック教會ハ、教皇ノ下ニ樞機卿六〇名、大司教二二一名、司教八四二名、代牧一五六名、知牧二一名、獨立修道院長二一名、教會區一四〇、七八〇個所、司祭二七九、七〇七名、信者總數三億五千九百八十四萬五千四百五十七名ナリ）其ノ道義的影響ハ客觀的ニ見テ、現在歐米諸元首ノ誰人ニモ優リテ強力且崇高ナルハ論ナク（註、、、、プロテスタント學者及非基督教者ト雖モ、ユダヤ人將又マルキスト等極端ナル惡意ヲ藏スルモノヲ除キテハ、ローマ法皇ノ精神的勢力ノ偉大ナルコトト、又其ノ道德的好影響トヲ是認スルニ吝サカナラザル模樣ナリ）右ニ就テハ本章各節ニ於テ既ニ屢述スル所アリタリ。而シテローマ法

皇ノ權力（聖權）ハ純然タル宗教道德上ノコトニ限ラレ、現世的政治事項ニハ一切關與ノ權ナク（註、、、、現代教會法ノ權威タルクイニ！樞機卿ハ「世俗的事項ハ教會ノ目的圏外ニ在リ。一般的法則（自然法）トシテハ、如何ナル團体モ、其ノ目的外ニ在ル事項ニ付テハ何事ヲモナス權利ナシ」トシテ、ロ！マ法皇ノ政治事項不關與ノ法理ヲ說明シツツアリ。）事實上、ロ！マ法皇ハ古來宗教權（聖權）ト政治權（現世權）トノ分劃ヲ主張シ、歷代法皇ハ其ノ意志上「教會トシテハ、政治的事項ニ對シ何等ノ干涉權ヲモ有セザル」コトヲ聲明セルカ（註、、、、法皇權極盛時代ノ中世ニ於テサエインノセント三世、アレキサンドル三世、ボニフアシオ八世等ハ常ニ右趣旨ヲ宣明セリ。況ンヤ國權隆盛ノ近代ニ在リテハ、却ツテ法皇側ニ於テ「宗教權カ政治權ニ從屬スヘキモノニ非サル」所以ヲ力說シ、專ラ純政治權萬能主義者ノ不當ナル宗教壓迫ヲ排除スルノ立場ニ在リ。惟フニ近時歷代教皇カ、力ヲ盡シ

[illegible]

・ロ！マ法皇ノ政治事項不關與ノ法理

（註、、、、ロ！マ法皇ハ「世俗的事項ハ教會ノ目的圏外ニ在リ」トシテ、政治事項ニ關與セザルコトヲ說明セリ。）

第四節　國家權ニ對スル法皇ノ主張

テ宗教權ノ擁護ヲ計リ、其ノ爲ニ自ラ進ンデ政教（政治ト宗教）ノ分離、從ツテ教會ノ政治關與ノ禁止ヲ聲明シ、且誠意實行シツツアルハ、理論上當然ノコトニ屬スルモノト謂フヘシ。（註、中世時代、法皇グレゴリオ十世（在位一二七一―一二七六年）ハ「帝王ガ其ノ完全ナル主權ヲ享有スル爲ニ全力ヲ竭スコトハ法皇ノ義務ナリ」ト明言シタリ）然ルニ如右法皇側ニ於ケル不斷ノ現世權尊重、政治不干與主義ノ誠意アルニ拘ラス、現世權側ニ於テハ飽クナキ野望ニ燃ヘ、ビスマークノ所謂「三冠主義」即チ現世權ト同時ニ聖權ヲモ皇帝ニ冠セシメ、以ツテ政治上ニモ世界統一ヲ企圖セムトスルノ夢想ヲ逞ウシ、專ラ法皇權ノ奪奪ヲ策シ、却ツテ「自ラノ劍ヲ以テ自ラヲ殺ス」ノ醜狀ヲ繰返シ來レリ。而シテ其ノ極端ナルモノハ、實ニ十九世紀ニ於ケルフラン、マツソンノデモクラシー主義、二十世紀ニ於テ第三インターナショナルノ世界赤化主義ナルコト屢述ノ通リニシテ、此ノ意味ニ於テ、法

皇權ト現世權（歐米ニ於ケル）トノ正邪、曲直ガ何レノ側ニ在ルヤ、多言ヲ要セスシテ明白ナリト謂フヘキノミ。

〇何レニセヨ人類ハ、精神的且社交的本性ヲ有スルモノニシテ、國家ヲ結成シ、永遠ナル福祉（天國ノ幸福）ヲ遂求スルモノナル以上、萬人共ニ國家ノ一員卽チ國權ニ服スル國民ナルト同時ニ、「神ノ御國」ノ一員卽チ宗教權ニ服スル「神ノ羔」タルノ立場ヲ有スルモノトナスヘク、此處ニ於テ、國權カ宗教權ト相容レスシテ、其ノ間、紛爭對立アル場合ニハ、國民ハ國權ニ對スル忠誠ノ義務ト、神ニ對スル信仰ノ義務トノ矛盾ニ苦シムコトトナリ、結局非道ナル宗教迫害、社會紛亂等ノ勃發ヲ見ル次第ナリ。而シテ人類歷史ハ、既ニ聖アウグスチヌスノ道破セルガ如ク「過度ノ自己愛ヲ中心トスル地上ノ都」ト「神ノ愛ヲ中心トスル神ノ都」ノ二箇ノ精神的團體ノ抗爭史ニ外ナラス。國家カ右「地上ノ都」ニヨリテ支配セラルル時、紛亂、鬪爭勃發シ、遂テ腐敗墮落ノ衰亡ニ轉

落スルハ必條ニシテ、一方國家カ「神ノ都」ニヨリテ、ヨリ多ク浸透セラルル時（註、、、地上現世ニ於テハ「神ノ都」ノ完全且永久ナル發現ヲ見ス）社會ノ安寧、道德、文化ノ開華ヲ見、國家ノ興隆ヲ期シ得ル次第ナリ。之ヲ具体的ニ言ヘハ、一國家カ全体トシテ、眞ニ正シキ宗教ニ目覺メ、神ノ意志ヲ遵奉スルニ於テハ、所謂現世權ト聖權（宗教權）トノ善美ナル融合ヲ見テ、國運ノ侵張ヲ實現シ得ヘキモ、古來現實的（實證的）國家ニシテ斯ノ如キ理想境ニ到達シ得タルモノ殆ンド皆無トモ謂フヘク、多クノ場合ハ、現世權ハ「自己愛」ノ放恣ニ陶醉シ、御用宗教、便宜道德ヲ制定、强行シテ、人類ノ眞ノ幸福（天國永遠ノ幸福）ヲ思フコトナク、此處ニ於テ不斷ニ現世權、宗教權ノ抗爭、紛亂ヲ展開シ來レリ。吾人ハ今此處ニ何レノ宗教カ眞正ナルモノナリヤ、將又何レカ眞ノ「神ノ御國」（宗教的權力團體）ナリヤヲ判定スルノ立場ニ非ルコト勿論ナルカ、只、假リニ現在、世界宗教上、最モ多

教ノ信者ヲ有シ且宗教的組織最モ強固ナルローマン。カトリツクノ立場ニ立ツテ之ヲ論スレハ、古クヨリ基督教文明ニ支配サレタル歐米諸國家カ、現在ノ如ク宗教的、思想的紛亂ヲ續ケ、ローマ法皇權ヲ排斥、壓迫スルハ、寔ニ歐米諸國家ノ自殺的腐敗墮落ト言フヘキノミナリ。

政教融論

上述ノ如ク、政治ト宗教ハ、理論上、之ヲ分離シ得ルモノニ非ズ。聖トマスノ言説ノ如ク、政治トハ、地上現世社會ノ安寧ト經濟的生存力ノ充實ヲ目的トシ、以テ國民ノ宗教的生活卽チ天國永遠ノ福祉ヲ得ムカ爲ニ、地上現世ニ於テ神ノ命スル道德ヲ實踐シ、報本反始ノ務ヲ果スコトヲ保護指導スルノ、國權ノ作用ニ外ナラス。故ニ一國政治ノ理想形態ハ神政政治ニ在ルヘク、此ノ意味ニ於テ所謂「政教分離」（註、、、、ローマ法皇側ニ於テ主張スル政治不干與主義トハ全然別箇ノ觀念ニ屬スルモノニシテ、卽チ宗教ト教育トヲ分離セムトスル、徹底的反宗思想ニ外ナラズ）ト稱シ、宗

教ヲ「空漠ナル理念上ノ遊戯」ト誣ヒ「現世的國家ノ隆盛ニ關シテ有害無益ナリ」ト、主張スル現代歐米國家（十九世紀的デモクラシー國家）ハ、自ラ政治ノ邪惡化ヲ公言スルモノニ外ナラス。

惟フニ現代歐米國家觀念ハ、中世的宗教主義ト共ニ、近世的君權主義ヲ排斥シ、自由（偽リノ自由）ナル個人ノ契約ヲ基礎トスル民權主義國家ノ理論ヲ取リ（ルツソー。モンテスキユー流ノ國家契約說）一切ノ精神的權威ヲ否認スル、唯物、自然思想ニ立脚シテ樹テラレタル觀念ニ外ナラス。從ツテ所謂デモクラシー國家ハ、極度ニ政府權ヲ制限シテ、國家ノ意志決定（立法）ヲ多數代表、一般投票ノ議會ニ委ネ、司法權ノ發動モ要スルニ、人民ノ制定セル便宜的法律ニ遵據セシメ、一切ノ「神法」「自然法」ノ觀念ヲ否定シ、斯クテ徒ラニ衆愚政治トナリ、其ノ自由、放任ハ經濟的弱肉强食ト化シ、營業自由ニ乘シタル富者ノ無制限ナル貪婪ハ、資本主義ノ絶對的支配ヲ齎ラシ、遂テ國權其ノモノモ、少數資本

家ノ壟斷スル所トナリ、而シテ國權ヲ左右スル資本家ハ、國家ノ兵力、民力ヲ用ヒテ自己ノ經濟的支配權ヲ擴大セムトシテ、此處ニ所謂「富國强兵」ナル標語ノ下ニ限度ナキ軍備擴張。植民地爭奪。マキアベリ外交ノ帝國主義ノ跳梁ヲ齎ラスニ至レル次第ナリ。之ニ仍ツテ觀ルニ、現代デモクラシー國家ノ根本的缺陷ハ、卽チ政教分離（アンチイ。クレリカリズム）、現世主義ノ精神、思想ニ伏在スルモノト謂フヘク、從ツテ帝國主義。資本主義。自由主義。ノ破綻タル歐洲大戰後、歐米ニ於ケル政治動向ガ、自由主義ニ對シテ獨裁主義。資本主義ニ對シテ社會主義。帝國主義ニ對シテ國際協調主義ニ發途セルノミナラス、總テノ根本的思想トシテ近代的現世主義、人道主義ニ對シテ、中世的宗教主義、カトリシズムノ猛然タル復興ヲ見ルニ至レルハ、又以テ絕大ナル「神ノ御攝理」卽チ宇宙、人生ノ自然法理ノ發展ナリト謂ハサルヘカラス。

「ローマ法皇ノ國際政治上ノ勢力ヲ明白ニスル爲ニ、以上歐米政治

社會ノ構成ト、神政政治ノ本義ヲ說キタル次第ナルカ、事實上、ローマ法皇ハ既ニ屢述ノ通リ、幾多ノ回勅、敎書ヲ以テ基督敎的國家觀、世界政策、社會救濟策ヲ宣揚シ、萬國三億五千萬ノカトリック信者ハ、夫々自國敎會當局ノ精神的指導ノ下ニ、一切ノ行動ヲ、ローマ法皇ノ指示スルカ如キ基督敎的道義主義ノ實踐ニ獻ケツツアリ。基督敎的道義主義カ如何ナルモノナリヤハ既ニ之ヲ詳述セルカ、之ヲ要約再言スレハ、卽チ神ノ御意志ニ奉仕參劃スルガ爲ニ、基督ノ敎說ヲ信奉シ、總テ「友愛」ノ至誠ヲ以テ（註）、基督敎的道德ノ本源ハ「己レヲ愛スルカ如ク人ヲ愛セヨ」ノ所謂隣人愛主義ニ在リ。）修身、齊家、治國、平天下ノ斯道ヲ遵進セムトスルコトニ在リ。個人トシテハ、人倫ノ道ヲ守リ、純美ナル家族主義ニ立脚シ、社會ニ對シテハ犧牲、奉仕ノ義務ヲ盡シ、忠君愛國ノ至誠ヲ發揚スルコトニヨリテ、各自所屬國家ノ安寧ト隆運ヲ計リ、斯クシテ善美ナル道德的國家ヲ基本トシテ、

國際的友愛協調（共存共榮）ノ平和世界ヲ建設セムトスル次第ナリ。

素ヨリ右ノ如キ理想政治ハ、必スシモ基督公教ノ獨占ニ非スシテ、プロテスタント將又歐米非基督教的思想ト雖モ（註、、、日本ノ皇道、支那ノ王道、印度ノガンヂズム將又佛教、儒教等高等宗教ノ理想カ、善美ナルモノアルコトハ言フヲ待タザルモ、只本論ハ、飽迄歐米ニ於ケル政治思想ノ研究ヲ本旨トスルモノナル關係上、歐米以外ノ思想問題ニハ一切觸レザル立テ前ニ在リ。右御諒承ヲ乞フ）其ノ理想トスル所ハ、人類福祉ノ達成、世界平和ノ實現ニ在ルコト云フ迄モナキコトナルガ（註、、、資本主義。フリー。メソン。プロテスタンティズム等ハ、個人ノ自由ヲ以テ幸福社會ナリトシ、自由、平等、博愛ノ僞善的標語ヲ掲ケ、社會主義ハ唯物的、經濟的「最大多數ノ最大幸福」ヲ唱導シ、共產主義マルクス主義ト雖モ勞働者獨裁社會ノ實現ニ因ル「搾取ナキ勤勞者ノ天

[illegible]

國一ヲ夢想シツツアリ。）問題ハ、其ノ終局目的カ奈邊ニ在ルカノ眞理上ノ優劣ト、之ヲ達成スル手段方策ノ如何ニ在リ。基督教的宇宙觀、人生觀ニ於テハ、地上現世ニ於ケル理想社會ノ實現ヲ可能トセス、人ノ「永遠ノ幸福」ハ現世ヲ超越シタル天國（神ノ御國）ニ於テノミ、完全ニ且永久ニ達成シ得ルモノト信仰シヲルヲ以テ、他ノ所謂唯物、無神論的現世主義思想トハ絶對ニ相容レス。乍然一方、地上現世ノ社會ハ、神ノ立法セル自然法ノ支配ニ從ッテ國家ヲ結成シ、國家ヲ一單位トスル道德的安寧社會ヲ保持シツツ、國民各個ノ永遠ナル幸福達成ノ手段、即チ宗教生活ヲ營ムヲ要スル次第ナレバ、政治的ニハ、凡テ現ニ在ル所ノ權力ヲ以テ神ヨリ與ヘラレタルモノト見、如何ナル名目ヲ以テシテモ、暴力革命、政治擾亂ヲ容認セス。不正ナル權力ニ對シテモ、忍耐ト祈禱ノ至情ヲ以テ消極的非協同運動ヲ取リツツ、專ラ基督教的愛ノ力ニヨル社會改善ニ奉仕スヘキナリ。（註、、、、基督教的社會

運動ノ本旨ハ救貧、慈善事業ニヨル物質的、精神的、社會改良ニ在ル處、又積極的ニ勞働運動ヲ是正シ、道義政治ニ參劃シ、以テ國家社會ノ現世的福祉增進ニモ寄與セザルベカラズ）

結論的考察　以上概述セル所ヲ要約スルニ、ローマ法皇ハ昔ニ、宗教的首長タルニ止マラス、萬國三億五千萬ノ絶對的信仰勢力ヲ擁シテ、世界ノ理想政治ニ關シテモ、大イナル影響（但シ右ハ間接的影響ニシテ、ローマ法皇カ絶對ニ政治不干與主義ヲ勵行シフルコトハ屢述ノ通リナリ）ヲ與ヘツツアリ。然ルニ右ローマ法皇ノ政治的間接影響力ハ、思想上カトリック教ト相容レサルモノ卽チプロテスタント。フリー。メゾン。ユダヤ教徒。唯物、無神論者。資本主義。社會主義。遊蕩兒等凡ユル近代主義者ヨリ憎惡ヲ買フコトトナルハ、之亦人間思想乃至政治上ノ當然ノコトニ屬シ、文藝復興、宗教革命以來引續キ發展シ來レル現世國家カ、自然主義文化ノ發展ニ伴ヒ、益々反ローマ法皇、反宗教運動ニ趣キツツ、遂ニ十九世

紀ノ完全ナル政教分離、自由信仰（實ハ無信仰主義）ニ到達シタル經緯ハ、既ニ屢述ノ通リニシテ、而シテ現代唯物、無神論ノ極致ニ立チ、凡有既成秩序ノ破壞ヲ標榜シ、世界赤化ニ邁進シツツアルマルクス主義、第三國際乃至蘇露聯邦カ、其ノ最强、最悪ノ敵手トシテローマ法皇及萬國カトリック教會ヲ非難攻擊シツツアルノ現狀ハ、即チ之ヲ逆ニ見テ、歐米全土ニ亘ル反共運動。宗教（カトリック）復興運動ト判斷シ得ル次第ナリ。斯クテローマ法皇ハ、現代歐米宗教復興氣運ニ伴ヒ、益々其ノ道義的、精神的、影響力ヲ高揚シ、一ツハ十九世紀世界支配ノアングロ。サクソニズム乃至資本主義ニ修正ヲ加ヘツツ、他方邪悪ヲ公言シテ憚ル所ナキマルクス主義、第三國際ノ世界赤化ト抗爭シツツ、世界的ニ「神ノ都」ノ擴大强化ヲ所期シツツアルモノト觀測セラル。（註、「神ノ都」トハ必スシモ教會ヲ意味スルニ非スシテ、要スルニ道德的平和社會ヲ指稱スルモノナル以所ハ、既ニ屢述ノ通リナ

附言、、、筆者ハ主觀的ニ言ヘハ、歐米十九世紀的デモクラシー國家ニ對シ、ローマ法皇ノ國家觀、社會政策等ニ滿腔ノ同情ヲ獻ケムト欲スルモノナルカ、之ヲ客觀的ニ見テモ、日本皇道ノ世界的宣揚ノ爲ニハ、寧ロ世界的道義精神ヲ主張シ且之ヲ强力ニ實踐シツツアルローマ法皇、及歐米宗教復興勢力ト相提携シ、以テ歐米十九世紀的帝國主義。資本主義。自由主義（アングロサクソニズム）ニ修正ヲ加ヘツツ、第三國際乃至蘇聯邦ニ對スル思想的（外交政策上ニモ影響アルヘシ）包圍陣ヲ構築スルノ世界政策ニ發途スヘキニ非ルカ。尤モ右ニ付テハ國內宗教上、思想上ノ機微ナル關係モ有ルヘキニ付、今俄カニ具体的處置ヲ採ルコトニ付テハ、愼重ナル考慮ヲ必要トスヘキモ、筆者ハ唯、一箇世界政治思想研究者トシテノ自由且無責任ナル立場ニ於テ、敢テ管見ヲ批歷セル次第ナリ。

以上。

○附屬第一基督教分派一覽

甲。中世以前ニ分離セルモノ

一、ギリシヤ正教會（ロシア國教會。又ハヘリスト正教會）

△一〇五四年コンスタンチノープル總主教ミカエルヽセルヽロニヨリテ獨立ス

△ローマ、カトリツクトノ相違點

(一)ローマ教皇ヲ認メス

(二)聖靈ハ「父ヨリノミ」生ストス（カトリツクニ於テハ「父トヨリ聖靈生ス」トス

(三)ミサ聖祭ニ於ケル聖体祝別ニ關シ方式異ル

(四)贖宥ヲ認メス

(五)堅信及叙品ノ祕蹟ノ重複授與ヲ可能トス

(六)離婚ヲ認ム

(七)死後直チニ審判アリ、賞罰ハ公審判ノ後トス（從ツテ「練獄

ノ存在ヲ認メス

(八)宗教公議會ニ付テ七八七年第二回ニケア會議（第七回公會議迄ヲ承認スルモ一方カトリツクニ於テハ第二十回公會議タルヴァティカン會議迄之ヲ認ム

(九)其ノ他慣習上ノ相違アリ、殊ニ僧侶ノ不犯ニ關シギリシヤ教ニ於テハ品級ノ祕蹟前ノ結婚ヲ有效ト認ムルモカトリツクニ於テハ絶對終生不犯ヲ必要トス

二、ハリスト正教會分派

十余箇ノ獨立セル國教ニ分裂ス。其ノ主ナルモノ左ノ如シ

(イ)ネストリウス派教會

四三一年エフエゾ公會議（第三回公議會）ニ於テローマ教皇ヨリ異端ヲ宣セラル。

後ペルシアニ根據シエヂプト、シリア、パレスチナ地方ニモ羽翼ヲ延ハシ東カ印度ニ蔓延シテ所謂「トマス基督教」ト稱セラ

レタリ。

六三五年唐大宗ノ時支那ニ傳導サレ景教（卽チユダヤ教）ト稱セラル。

支那眞言宗ハ右景教思想ヲ佛教ニ攝取シ弘法大師ニヨリ日本ニ移入セラレタリ。

現在ペルシヤ地方ニ約十萬ノ信徒アルノミ

(ロ)アルメニア派教會

五〇五年カトリツクヨリ分離シアルメニア國教トナル。現在信者二百三十萬ヲ有シ、中、九十萬ハ蘇聯邦人民タリ。

(ハ)シリアノヤコブ派教會

現在印度及クルディスタン地方ニ約八萬ノ信徒ヲ有ス

(ニ)トマス派教會

印度西岸マラバール國（現在約三百萬ノカトリツク信者アリ）ニ殘存シ信者二十二萬ト稱セラル

(ホ)コプト派教會

北方アフリカノコプト人、アビシニア人ノ特種基督教ニシテ現在本山ヲカイロニ有シ七十萬人ノ信徒ヲ有ス

(ヘ)アビシニア派教會

南部エヂプト紅海ニ面スル一帶ニ居住スルアビシニア人（人口千萬人）中現在三百五十萬ノ信者ヲ算ス

(ト)ロシア離教各派

ロシア國教トナレルギリシヤ正教ニ於テハ十七世紀既ニ内部分裂アリ其ノ後右分離教會ハ更ニ分裂ニ分裂ヲ重ネテ五十ニ近キ小派ニ及ヒ信徒ハ總テヲ合シテ九百萬人ヲ有ス。

而シテ右ハ大離教派（司祭派、無司祭派ニ分レ右ハ更ニ多クノ小分派ヲナス）精神派（無教會主義）唯理派（人間理性ヲ宗教最高規範トナス）プロテスタント、ハリスト教會派（ロシア國教トプロテスタント教會トノ混合）等ニ大別セラル

乙　近代ニ於テ分離セルモノ

イ　獨逸カトリック派教會

一八四五年獨逸シレジアノ司祭ヨハネス、ローンゲ及チェルスキニヨリテ創立セラル。現在無勢力。

右ハドイツ、カトリック神學者カントノ唯理主義哲學ニ心酔シテローマ教皇權ニ叛旗ヲ翻シタルモノナリ。

ロ　チェッコ・スロバキア派教會

チェッコ、スロバキアハ歐洲戰後共和國トナリ一九二一年ニハ全人口一三、三七四、三六四中カトリック信者九割五分ヲ占メタルカ右ノ中百四十萬人ハ「良心ノ自由」ト「基督ノ神性否認」ヲ主張シテ獨立シ「チェッコ・スロバキア國教會」ヲ創立セリ而シテ其ノ後セルビア國ギリシャ正教會ト合併シ且又政府ノ保護ヲ得テ一九二八年ニハ二百五萬人ノ信徒ヲ數フルニ至レリ。

ハ　アグリパイ派教會

一九〇〇年當時フィリッピンハ全人口千萬人中九百萬人ハカトリック信者ナリシカアメリカ政府ハアメリカ主義化ヲ唱ヘテ宗教自由ヲ煽動シ之ニ乘シテ先ニスペインニ對スルフィリッピン獨立革命運動ニ參劃セルカトリック司祭グレゴリオ、アグリパイハカトリック教會ヨリ異端ヲ宣告セラレ一九〇二年フィリッピン獨立教會ヲ建設シ自ラ大司教トナリ約百五十萬ノ信者ヲ得タリ。尤モ一九〇六年掠奪セルカトリック教會ヲカトリック側ニ返還スヘキ裁判アリテ其ノ後教勢頓ニ衰ヘ他方カトリック側ノ歸正運動奏功シテ現在ハ信者約十萬ニ過キス。

四、舊カトリック派教會

一八七〇年第二〇回ヴァティカン公會議ニ於テローマ教皇不謬權規定裁決セラルルヤ右裁決ノ時機尚早ヲ唱ヘタルドイツ代議士イグナツ、フオン、デーリンガー博士（司祭）ハドイツ、スイス、フランス等ノ學者ヲ糾合シ一八七二年「舊カトリック教

會」ヲ創立シテ獨逸民族主義ヲ唱ヘビスマークノ文化戰爭ニ參劃シテローマ教會ニ反抗セリ。而シテ一時ドイツニ於テ約五萬ノ信者ヲ得タルカ其後勢力衰ヘ現在ドイツニ二萬スイスニ三萬五千オースタリーニ二萬其他諸國ニ二萬ヲ數フルニ過キス。

丙、プロテスタント各派

一、歐洲大陸系プロテスタント各派

(イ)ワルド派教會

一三世紀初葉フランス。リオンノ商人ピエール。ワルドニヨリ創立セラレ一六世紀カルヴイン派ト融合ス

(ロ)再洗禮派教會

一九二三年スイス。ツューリツヒノメンノー。シモンスニヨリ創立、戰爭反對、無抵抗主義、現在信徒六萬、大部分アメリカニ居住ス

(ハ)新洗禮派教會

一八三五年スイスノ神學生サムエル。フレーリヒノ創立、アメリカニ於テハ「使徒基督教會」ト稱セラレ信者一萬人ニ過キス

(二)ハンガリアノナザレン派教會

新洗禮派ノハンガリア分派、兵役義務否認、勞働者間ニ信者アリ

(ホ)ユニテリアン派教會

文藝復興時代イタリーニ起リシ反三位一体思想ニシテポーランドニ波及ス。現在ハポーランドニ六萬、アメリカニ八萬ノ信者ヲ有ス。アメリカノハーバート大學及英國オツクスフオードニ神學校ヲ有ス。奴隷解放、囚人保護ノ功蹟アリ、日本ニハ明治二十年傳來佛教眞宗大谷派ト握手シ片山潛、幸德秋水等社會民主主義者ヲ輩出セリ

(ヘ)アルミニウス派教會

和蘭カルヴイン派ノ牧師ヤコブ。アルミニユウスノ絶對宿命論教會ニシテフーゴー。グロチウス之ニ屬シ一六二五年法律上ノ公認ヲ受ケ現在約二萬ノ信徒ヲ有ス

(ト)同胞派教會

ボヘミヤノジョンプス（一四一四年炙刑ニ處セラル）ノ殘黨ボヘミヤ。メーレン同胞聯盟ヨリ始マリ一八世紀初葉獨逸サクセンニ移轉シ獨逸教虔主義派ツインゼンドルフ伯ノ指導ヲ受ケテ同胞教會建設ニ至レリ。

既ニ一七三二年頃ヨリ西印度黑奴ニ傳導ヲ開始シ海外布教ノ實ヲ上ケタルカ現在四ケノ獨立區域ニ分レ(一)獨逸系ハ一萬(二)英國系ハ五千(三)アメリカ北部系（ペンシルヴエニア洲ベトレヘム）三萬(四)アメリカ南部系（ウインストン。サーレム）一萬ノ信徒ヲ數フルニ過キス

(チ)獨逸ナザレン派教會

十九世紀初葉バーゼルノヤコブ。ヴイルツト云フ絹織匠ノ創立迷信的ニシテ且獨身ヲ强要スルヲ以テ現在ハ殆ント全滅ノ形ナリ。

(リ)神殿派教會

一八六一年獨逸ヴュルテンベルグノクリストフ。ホフマンノ創立ヽ愛國主義ヲ鼓吹シ神政帝國出現ト基督ノ千年間世界統治ヲ信仰ス

(ス)福音ルーテル派教會

マルチン、ルツター創始ノプロテスタント教會ノ元祖ナリ。一八一七年宗教革命三百年紀念祭ノ際プロシヤ王フリードリツヒ。ヴイルヘルム三世ノ斡旋ニヨリカルヴイン派ト合同セルカ右合同ニ反對スルモノハ「舊ルツター」派ト「自由派諸教會」ニ分レ自由派ハ唯理主義ヲ採ツテ正統派ト對抗ス。

デンマークニ於テハ一九二九年正統派ルツター教ヲ國教トナシ國王自ラ教會ノ最高監督トナル。

ノルウエーモデンマークト合併以來同教ヲ國教トス

スエーデン亦一五四四年國教ニ採用ス

アメリカニ於テハオランダヽ獨逸等夫夫國別ニヨリ教會ノ差

異アリ、日本ニ於ケル「總福音プロテスタント傳道會社」「日本同盟基督協會」「日本福音ルーテル教會」「フインランド福音ルツター協會」「普及福音教會」等之ニ屬ス

二、英國系プロテスタント教會各派

(イ)英國聖公會派（アングリカン、チヤーチ）

(1)ハイ、チヤーチ派

最モカトリツク教會ニ接近シ唯ローマ教皇ヲ容認セス且又ミサ聖祭ニ英語ヲ使用スル點ニ於テ根本的差異アリ。

一八三三年以來オツクスフオード。ムーブメントハ同派ノニユーマン。マンニング等ノカトリツク歸正運動ニシテ現在教會內部ニ於テモロード、ヘリフアツクス卿ノ合併運動アリ。

(2)ブロード。チヤーチ派

自由思想者ノ團體ニシテ一八三〇年代文豪コレーリツヂノ

唱導ニ系ル

(3)ロー。チャーチ派

國教會ヲ確守シ實踐道德ヲ主トシテ教義問題ヲ等閑ニ附ス。ル傾向アリ。聖書普及。辻說法。辻說法等宣傳ニ努ム。

以上三派ヲ合シテ聖公會ハ英本國ニ於テ二千萬ノ信者ヲ有ス。而シテ其ノ首座ハカンタベリー大監督。ニシテヨーク大監督ヲ次位トス。

(ロ)清教派教會（ピューリタンス）

英國國教ノカトリツク臭味ニ反對シ「凡ユルカトリツク教會ノ汚損ヨリ自ラ清メル」モノトシテカルヴイン派教會主義ヲ採リ極端ナル快樂反對主義ヲ以テ有名ナリ。

獨裁革命家クロムエル。「天路歷程」ノ著者ジヨン、バンヤン等同派出身ニシテ尙一六二〇年ノメーフラワー號ノアメリカ渡航ハ移民ロマンストシテ人口ニ膾炙ス。

(イ)長老派教會（プレスビテリアニズム）

カルビン派直系ニシテスイス、オランダ等改革派教會。フランスノユグノー派。ボヘミア教會、ハンガリア教會等ト同系統ニ屬シスコットランドノジョン。ノックスニヨリテ創立セラル。

同派ハスコットランド國教タリシカ現在多數ノ別派ニ分レ、エスタブリッシト。チャーチトユーナイテッド。フリー。チャーチノ二大派ニ分類セラル。

同派中日本ニ關係アルモノハ「北米長老教會」「改革派長老教會」「北米一致派長老教會」「共同改革長老教會」「北米共同委員會」「アメリカ（和蘭）改革派長老教會」「スコットランド一致長老教會」「日本基督教會」等ナリ、

(ニ)組合派教會（コングレーゲーショナリズム）

アングリカン。チャーチノ監督制ニヨル暴壓ニ反抗シ最モ極

端ナル教會的無政府主義ニ走リ「基監以外如何ナル教會首長モ監督モ長老モ國王モ豫言者モ否定スル」教派ナリ。

「日本組合基督教會」之ニ屬ス。

(ホ)バプテイスト派教會

小兒ノ洗禮ヲ否認ス

分裂甚タシクコレヲ(1)ゼネラルバプテイスト派ト(2)パーティクユーラー。バプテイスト派ニ大別シ尚「キリストノバプテイスト教會」キリストノ弟子教會」等モ之ニ屬ス。

日本關係ノモノハ「獨逸バプテイスト教會」「自由意志バプテイスト教會」「原始バプテイスト教會」「第七日バプテイスト教會」「六個原則バプテイスト教會」「神ノ教會派」等アリ尚同派ノ外國傳道ハ(一)バプテイスト傳道會社(英國)(二)米國バプテイスト外國傳道會社(三)米國南部バプテイスト外國傳道會社ノ三大會社ニヨリ行ハレツツアリ。

(ヘ)神ノ教會派（チャーチ。オブ、ゴッド）

一八八〇年ツーナー牧師ニヨリアメリカニ於テ創設セラル

(ト)基督ノ友會派（フレンド協會、又ハクエーカー）

一七世紀中葉英國ノジョージ。フオックスナル富商ノ子ニヨリテ創唱セラレ個人ノ靈感（インスピレーション）ヲ重ンシクエーカートハ「神ヲ恐レ戰慄スルモノ」ノ意味ニシテフオックスノ熱烈ナル傳道ハ到ル處プロテスタント側カラ絶大ノ迫害ヲ受ケ米國ニ於テハ清教徒ヨリ「異端ノ呪ハルヘキ教派」ト稱セラレタリ。米國ウイリアム。ペンノ好意ニヨリペンシルヴエニア地方ニ殖民シクエーカー村ヲ作レリ。尚同派モ亦内部分裂アリ(1)正統クエーカー派(2)ヒツタス派（一八二二年）英人ヒツクス創立）(3)ウイルバー派（一八三八年ジョン、ウイルバー創立）(4)原始派（ウイルバー派ノ分派）等ニ分類サル

(ヘ)メソヂスト教會

(イ)一八世紀中葉アングリカン教會信者ジョン。ウエスレーノ創唱ニ系リ其ノ弟チャールス。及讃美歌作者ニシテ雄辯家タルジョーヂ、ホワイトフィールドノ協力ヲ得テ實踐的「愛ノ宗教」ヲ力説シ且ツ平信徒説教團ノ移動説教（遊説）方法ヲ以ツテ彼等在世中ハ大イニ信徒ヲ獲得セルカ其ノ死後分裂ニ分裂ヲ重ネ「獨立メソヂスト」「原始メソヂスト」「合同メソヂスト」「ウエスレー改革合同」「メフヂスト、プロテスタント」「北米ウエスレー、メソヂスト、コネクション」「南メソヂスト監督」「組合メソヂスト」「新組合メソヂスト」「自由メソヂスト」「カナダ合同メソヂスト」等無數ニ分派シ尚日本關係ノモノハ「日本メソヂスト教會」日本美普教會」「福音教會」「日本自由メソヂスト教會」「ナザレン教會」「東洋宣教會ホーリネス教會」「ウエスレー。メソヂスト教

會」「日本基督同胞教會」等アリ

(リ)救世軍

一九世紀末葉英國聖公會ノ冷酷ナル形式主義ヲ概シ且又資本主義ノ暴逆ニヨル勞働者ノ貧窮化ニ同情シ英國ノウェインガムノ建築請負師ノ子ウイリアム。ブースノ唱導セル實踐的救貧事業ニシテ其ノ軍隊組織ト巡廻傳道ニヨリ異常ナル宣傳的效果ヲ收メブース在世中全歐各地ハ勿論印度、東洋方面ニ破竹ノ勢ヲ以テ普及セリ。

同派ハ其ノ理論極メテ幼稚ニシテ之ヲ「宗教」ト呼フヘキヤ否ヤ疑問ナルモ其ノ活潑ナル社會事業ハ最モ近代的ニシテ社會改革運動トシテノ功蹟ハ之ヲ認メサルヘカラス

(ヌ)カトリック使徒派教會

十九世紀中葉オックスフォードムーブメント等カトリック復歸運動ハ一面極端派ヲ出シ殊ニスコットランドノエドワード

アーヴインダハ熱狂ノ餘リ「世界ノ終末ノ豫言」ヲナスニ至リ（一八二四年ニ世界終末ハ一八六四年ナリト宣言セリ）其ノ死後（一八三四年）十二使徒ト稱スル者出來上リ英國及北獨逸方面ニ多數信徒ヲ得テ一八四〇年「使徒教會」ヲ設立セリ。尤モ所謂豫言ノ日一八六四年ニ於テモ遂ニ世界終末來ラズ其後新使教會トユダノ使徒職教會ニ分レタルカ一九〇一年十二月使徒ノ最後ノ一人死去ノ後ハ教會ハ俄然信望ヲ失フニ至レリ

(ハ)合衆派教會（ダービズム）

一八三〇年頃倫敦ノジョン、ネルソン、ダービーナルアングリカン牧師ニヨリ創立セラレ「集會」ヲ以テ唯一ノ救靈手段ト認ム、現在スイスニ中心ヲ有ス。

(三)米國系プロテスタント各派

(イ)モルモン教會

(ハ)ミルラー運動

(ニ)米國系ミルラー主義ノ中心ヲ成スモノハ一八三〇年代ニ於テ「ミルラー」ノ唱ヘタル「世界終末ノ時期ニ關スル豫言」ニ基ク一種ノ宗教的運動ニシテ、ミルラーハ「ユダヤ人ノ回復ノ時ハ一八四〇年ニ來ル」ト豫言シ、ミルラー主義ノ合衆國運動（ミルラーリズム）ハ次ノ如シ。

十二月第一日曜日ニ最後ノ審判ヲ行ヒ、一八四〇年ニ其第一回再臨運動ヲ行ヒ、次テ第二回再臨ノ日ハ一八六四年ニ來リテ千年王國ニ世界終末來ル。

（一）一八三三年第一回再臨運動ヲ行ヒ、一八四〇年「ユダヤ人ノ復活」ヲ唱ヘ、次第（一八三四年）十二月第一日ニ世界終末ハ英國及北米ニ來ル。

（二）（一八二四年ニ世界終末ハ一八六四年ヲ以テ到來スト宣言シ）其後ハ（世界ノ終末ハ繼續ノ）（世界ノ終末ハ繼續ノ）

一八二三年北米ヴーモント州ノジョセフ、スミスニヨリテ唱導セラレタル「最モインチキ性」ヲ帶ヒタル宗教ニシテ一夫多妻ヲ唱ヘ且又一八四四年自身大統領立候補ヲ企テ州知事ニ捕ヘラレ脱獄ヲ企テテ銃殺サレタリ。

(ロ)末世ノ福音教會派（アドヴエンテイスト派）

十八世紀ノ末葉ヨリ十九世紀ノ初葉ニ懸ケフランス大革命。ナポレオン一世ノ戰亂等歐洲一般人心ノ動搖時代ニ乘シ世界終末。基督再臨ノ近キヲ宣傳シテ一仕事セントスル宗教山師ノ輩出ヲ見タルカ右山師思想ハアメリカ獨立以來無數ノ歐洲移民ト共ニアメリカニ傳播サレ所謂アドヴエンテイスト派諸派ヲ發生セシメタル次第ナルカ就中マサチユーセツツ州ノウイルアム、ミラー（一七八二―一八四九）ハ聖ハネ默示錄ノ字句ヲ拾ヒ世界終末ノ時期ヲ豫告シ大イニ愚民ヲ集攬セリ。然ルニ豫言ノ年來ルモ基督再臨ノコトナク此處ニ於テミラー

ハ直チニ豫言撤回ヲ聲明セルカ信者ノ一人スノーナルモノ半年後レノ改訂豫言ヲナシ而シテ右モ實現セラレサルニ及ンテ「近ク來ルヘキ基督」ト不定期ニ改訂シ愚民ヲ集メテ新教會ヲ創立セリ。而シテ同派ハ福音「アドベンテイスト教會」「アドベンチスト、クリスチヤン」「ライフエンド、アドヴエント聯合」「神ノ教會」「エージ、トウ、カム、アドヴエンテイスト」「セヴンス、デーアドヴエンテイスト」等ニ分裂シ何レモ基督教ノ名ヲ潛稱シテ荒唐無稽ノ迷信ヲ流布シツツアリ。

(5) 萬國聖書研究會

ペンシルバニア州ピツツバーグノラツセルナル者アドヴエンテイストノ教理ヲ繼承シ聖書研究會ヲ起シ基督再臨及其ノ千年統治ノ開始ヲ一九一四年ト豫言シ更ニ一九一八年ト變更シ何レモ實現セストヽ見ルヤ態度ヲ一變シテ凡百基督教會ノ信仰打破ニ向ヒ紐育ニダヤ系ヒルシユ銀行ノ資本ヲ仰キユダヤ人

欠

MISSING

運動ノ一翼トシテ奉宣傳ヲ行ヒツツアリ。日本ニモ同會ノ走狗アリ。彼等ハ奇恢ナルパンフレット宣傳ヲ以テ日本宗教界撹亂ヲ企圖シツツアリト傳ヘラル。

(二)ユニバーサリスト派教會

一八世紀末葉ロンドンニ於テジエームス。レリーノ創立ニ系リ一七七九年同派ノジヨン。マーレー北米ニ教會ヲ創設ス。「萬人必ス救濟サルヘシ」ト說クモノナルカ大ナル勢力ナシ日本同仁基督教會之ニ屬ス

(ホ)アライアンス派教會

一八八九年米國ニ於テシムプソンニヨリ創立セラレ日本ニモ傳道サル。

右ノ外クリスチャン、サイエンス。マクフアーソン女史ノフオアーロスクエア。ゴスペル等催眠術的宗教其他プロテスタントノ分派ハ現在二千派ニ及フト稱セラレ舊クシテ權威アル者ハ却ツ

テ衰微シ新奇ニシテ迷信、邪悪ナル者益々愚民ニ歓迎サレ斯ク
テ聖書自由解釈、教會權威否定ヲ唱導セルプロテスタントハ自
ラ基督教文化ヲ破壊シ社會國家ヲ毒スルノ結果トナレリ。十八
世紀以來、リベルタン（遊蕩兒）自然主義、享樂主義、ユダヤ
思想。フリーメソン等總テ社會道德破壞思想ハ又以テプロテス
タント自由、個人主義ノ缺陷ヨリ派生セル毒素トモ謂フヘク右
近代的人類墮落ハ唯物、無神ノアメリカ式マンモニズム（拜金
主義）ヤンキーイズム（刈那的享樂主義）トソビエット、ロシ
アノマルキシズムニ於テ其ノ極致ニ到達セルモノト言フモ必ス
シモ過言トナスヘカラス。

丁、基督教合同運動

「最近ニ於ケル東西教會合同運動

(イ)一八四八年一月六日カトリック、第二百五十五代教皇ピオ九世（在位一八四六ー一八七八）「東方教會ニ告グ」ノ教書發布

(ロ)第二百五十八代教皇ベネディクト十五世（在位一九一四ー一九二二）ハ一九一七年五月一日「東方教會協會」ヲローマニ設立ス

(ハ)現教皇ピオ十世ハ「東方文物教皇研究所」ヲローマニ設立ス

(ニ)一九二六年聖靈降臨祝日オースタリー國ウイーンニ於イテ東西兩教會合同大會開催セラル

尤モ右東西教會合同運動ニ付テハ悲觀材良ナキニ非ス例ヘハ(一)現在東方教會ハ分離當時ニ比シ其ノ内容著シクプロテスタント化シタルコト(二)民族的愛國心(三)東方教會内部ノ分裂（現在二十

個ノ獨立國教ニ分裂シ其ノ間統一ナシ）等ナリ。

プロテスタント合同運動

(イ)第一回合併運動、プロテスタント勃發當初獨逸皇帝カール五世ノ熱烈ナル調停アリシモシユマルカルド同盟諸侯ニ裏切ラレテ全然失敗ニ歸シタリ

(ロ)第二回合併運動、十七世紀中葉個人トシテノカトリック教會復歸運動アリ。

オランダノフーゴー・グロチウス（アルミニウス派）

南獨逸ノベルトロメウス・ホルツハウザー（カトリック司教）

フランスノボスエ（カトリック司教）

獨逸ノライプニッツ（プロテスタント哲學者）等

（本來プロテスタントハギリシヤ教會ト異リカトリックニ對シ基督教救靈基礎ニ付テノ本質的絶對的宗教觀ノ相違アルヲ以テプロテスタント、カトリック兩派ノ合同ハ絶對的不可能

事ニ屬ストセラレタリ）

(ハ)最近ニ於ケルカツトリック復歸運動

(1)一八三三年以來ノ英國聖公會內部ノオックスフォード、ムーブメント。

(2)英國聖公會慨ハリフアックス卿トカトリック教會側ノカルデイナル、メルシエールカ白耳義マリーヌニ於テ一九二一二三、二五ノ三四ニ亘リ宗教討義ヲ行フ。

(3)獨逸カトリック側ノヴインフリード歸盟（一九二〇年二月六日、獨逸バダーボルンニ創立）ハ機關誌「平和ノ市」（デイ、フリーデンスタツト）ヲ發行シ大イニ合併運動ヲ促進シツツアリ。

ニ、プロテスタント內部ノ結束運動

(イ)一八七三年プレスビテリアン諸教會同盟成立、歐洲大戰後米國フイラデルフイア、英國エデインバラヲ中心ニ活動ス

(ロ)一九一九年夏プロテスタント諸代表ノ會合和蘭及スイスニ開セラル

一九二二年夏ヨンタベリー監督幹旋ノ下ニロシア教會モ加入シテスコットランド、ヘルシングアオースニ大會ヲ開催ス

(ハ)一九二九年スコットランド合同自由教會トスコットランドトノ合同。

一九〇九年改革派バプテイスト派、メソヂスト派、長老派、黒奴教會ノ合同「アエデラル、カウンシル、オブ、ザ、チヤーチエス、オブ、クリスト、イン、アメリカ」

一九〇五年カナダニ於ケル組合派、メソヂスト派、長老派ノ合同「コンテインニングプレスビテリアン、チヤーチ。」

一九二二年獨逸ニ於テ諸福音教會合同「獨逸福音教會聯盟」

一九二〇年スイスニ於ケル「スイス福音教會聯盟」

一九一九年フランスニ於ケル「フランス、プロテスタント」

(二)英國聖公會ノラムベス會議（ラムベスハカンタベリー大監督ノ公邸）ニ於ケルアングリカン、コムニユニオン（英國聖公會系）ノ國際合同運動

(三)英國聖公會系高教會派ノ合同運動、一九二七年「世界聯盟」ヲ創立シ全世界基督教會ノ合同運動ヲ起シツツアリ。

(四)一九二七年夏スイス國ローザンヌニ於テ「世界基督協議會」開催サレタリ。（但シ參加教團八十七ニ過キスシテカトリック教會ハ參加セス）

○附屬第二、ヴァティカン市國外交關係一覽

一九三二年ノ教皇廳年鑑ニ據レハヴァティカンニ外交使節ヲ駐劄セシムル國家左ノ如シ（國名ノ下ノ年代ハ初メテ使節派遣ヲナシタル年ヲ示ス）

大使派遣國（十一ケ國）

ドイツ（一九二〇年）
アルゼンティン（一九二八年）
チリー（一九二〇年）
ベルギー（一九二七年）
ブラジル（一九一九年）
イタリー（一九二九年）
コロンビア（一九二七年）
スペイン（一九〇四年）
ポーランド（一九一九年公使派遣、一九二四年ニ大使ニ昇格

ポーランド（一九一八年公使館廣ク、一九二四年ニ大使ニ昇格）
スペイン（一九〇四年）
ロシヤ（一九二七年）
トルコ（一九二八年）
ルーマニア（一九一八年）
ベルギー（一九二〇年）
ハンガリー（一九二七年）
ギリシヤ（一九二〇年）
ユーゴスラヴィア（一九二八年）
オランダ（一九二〇年）
大使派遣國（十一ヶ國）
（ポルトガル）
ルクセンブルク（獨逸ハ第一次世界大戰ニ敗ケタ）
一九三二年ノ經濟恐慌ニ際シ獨逸ハ賠償ノ支拂ヲ中止シタ。
〇個國ニ代表ヲ置キ外交關係ヲ結ブ

ペルー（一九一九年）
フランス（一九〇四年、其ノ後一時廢止。一九二一年再設）
公使派遣國（二十三箇國）
オーストリア（一九二一年）
バイエルン（一九一九年）
ボリヴィア（一九二五年）
コスタリカ（一九二九年）
ポンデュラス（一九二九年）
ハンガリー（一九二〇年）
アイルランド（一九二九年）
リツアニア（一九二七年）
リベリア（一九二七年）
ラトビア（一九二五年）
モナコ（一九二九年）

ニカラグア（一九二九年）
パナマ（一九二九年）
ポルトガル（一九一八年）
プロシア（一九二〇年）
ルーマニア（一九二〇年）
サン・ドミンゴ（一九三〇年）
サン・マリーノ（一九二六年）
サン・サルヴァドル（一九二八年）
チェッコ・スロバキア（一九一九年）
マルタ（一九三〇年）
イギリス（一九一五年特派使節派遣、一九二一年公使ヲ駐劄
オランダ（一九二一年派遣、一九二六年一時廢止後復活）
右ノ外アメリカ合衆國及支那ニ於テモ最近使節派遣ノ議アリト傳ヘラル

附屬第三、世界宗教統計

甲、總攬

一九三一年ローマ聖廳所調世界宗教統計表ニ據レハ左ノ通リ。

カトリック教（天主公教）	三億五千百八十三萬九千六百六十五
プロテスタント諸派（所謂新教實ハ反抗派）	一億六千四百六十八萬三千〇二十六
ギリシヤ教（ハリスト教會）	一億三千百四十六萬〇八百二十二
ユダヤ教	一千五百七十三萬一千四百七十五
マホメット教（回教）	二億三千八百九十九萬七千五百九十四
佛教	一億九千九百四十六萬一千六百三十二
儒教	三億〇四百〇二萬七千百十四
神道	一千六百六十四萬四千四百三十七
印度教	二億二千三百九十八萬四千五百八十六

乙、全人類ニ百分比

全人類ニ對スル百分比左ノ通リ。

カトリック	一九、〇パーセント
プロテスタント	八、九同
ギリシヤ教	七、一パーセント
ユデア教	〇、九同
マホメット教	一三、〇同
佛教	一〇、八同
儒教	一六、四同
印度教	一二、〇同
神道	〇、九同
不信心	六、六同
無宗教ト未明	四、三同

丙、大陸別宗教統計

各大陸別諸宗教分布狀態左表ノ通リ。

歐洲

カトリック	二〇一、八五五、九〇〇
プロテスタント	一一一、八一九、四〇〇
ギリシヤ教	一二〇、七一〇、一七五
ユダヤ教	一〇、八二四、一六八
マホメット教	八、二三五、五二五
佛　教	一一〇、〇〇〇
アメリカ大陸（南北併セテ）	
カトリック	一二五、五六九、九〇五
プロテスタント	三六、一三八、八〇二
ギリシヤ教	九五三、〇〇〇
ユダヤ教	四、二二二、八二八
マホメット	二五三、九五二
儒　教	二七、一一四
亜細亜大陸	

カトリック	一七、〇三八、八七四
プロテスタント	四、五六六、四五八
ギリシャ教	四、八八四、〇八七
ユダヤ教	二八四、一〇三
マホメット	一七八、五九五、八八九
佛教	一九九、三三八、二六三
儒教	三〇四、〇〇〇、〇〇〇
神道	一六、六四四、四三七
印度教	二二三、九八四、五八六

アフリカ大陸

カトリック	五、三八七、六七八
プロテスタント	四、五五四、二〇六
ギリシャ教	四、五四九、五一九
ユダヤ教	三八二、三七六

マホメット	五一、九〇七、八二八
オーストラリヤ	
カトリック	一、九八七、三〇八
プロテスタント	五、六〇四、一六〇
ギリシャ教	三六四、〇四一
マホメット教	四、四〇〇
佛教	一三、三六九

附屬第四、歐米ニ於ケル國別宗教統計表

甲、總攬

歐洲全人口四億六千七百七十二萬六千二百一人ノ內

カトリック教徒	二億〇一百八十五萬五千九百人	全人口ニ對シ（約半數）
希臘離教徒	一億二千〇七十一萬〇百七十五人	（約四分ノ一）
プロテスタント教徒	一億一千三百八十一萬九千四百人	（約四分ノ一）

尙右基督教ノ外

猶太教徒	一千〇八十四萬一千百六十八人	
マホメット教徒	八百二十三萬五千五百二十五人	
無宗教其他	一千〇九十二萬三千四百九十八人	

（其ノ國別分布狀態ヲ明ラカニスル爲ニカトリック優勢諸國、プロテスタント優勢諸國、ギリシヤ教優勢諸國ニ三大別シテ各國ノ順位ハ適當ニ之ヲ配置ス）

現在ノ國籍ニ於テ頭數ヲ）

ロシヤセルビヤ連邦　一億一千三百八十一萬八千四百人　（約四分ノ一）

ポーランド連邦　一億二千〇十十一萬〇百十七五人　（約四分ノ一）

ルーマニヤ連邦　二億〇一百八十五萬五千八百人　（約半數）

總人口ニ對シ

甲、獨逸

（其ノ國限ニ於ケル宗教別ヲ）

無宗教其他　一千〇八十二萬三千四百八十八人

ロシヤセルビヤ連邦　八百二十三萬五千五百二十五人

獨逸　一千〇八十四萬二千百六十八人

尚ホ基督教ノ中

ロシヤセルビヤ　一億一千三百八十一萬八千四百人　（約四分ノ一）

ポーランド連邦　一億二千〇十十一萬〇百十七五人　（約四分ノ一）

ルーマニヤ連邦　二億〇一百八十五萬五千八百人　（約半數）

總人口ニ對シ

甲、獨逸

（其ノ國限ニ於ケル宗教別ヲ）

無宗教其他　一千〇八十二萬三千四百八十八人

ロシヤセルビヤ連邦　八百二十三萬五千五百二十五人

獨逸　一千〇八十四萬二千百六十八人

尚ホ基督教ノ中

獨逸全人口四億六千十百十十二萬六千二百一人ノ內

甲、獨逸

（其ノ國限ニ於ケル宗教別ヲ）

乙、カトリック優勢諸國

（一）佛蘭西（人口、四〇、九六〇、〇〇〇）

カトリック　三千九百七十萬　（絕對多數）

プロテスタント　百　萬

ユデア教　十五萬

モハメット教　十一萬

（二）伊太利（人口、四二、一一五、六〇六）

カトリック　四千萬〇九千八百二十六　（絕對多數）

プロテスタント　三十五萬一千六百十七

ユデア教　四萬六千三百二十七

無宗教其他　百七十一萬七千六百二十二

（三）西班牙（人口、二二、四四四、〇〇〇）

カトリック　二千二百萬　（殆ト全部）

プロテスタント　七　千

ユダヤ教　四千

無宗教其他　四十七萬

（四）葡萄牙（人口、六、〇三二、九九一）

カトリック　六百〇三萬二千（殆ト全部）

（尙）葡國屬領アリル及マデール（四一一、〇一四）全部カトリック

（五）墺地利（人口、六、五三五、三六三）

カトリック　五百三十一萬九千七百八十五（絕對多數）

プロテスタント　三十一萬三千六百九十七

ユダヤ教　七十萬五千八百十九（プロテスタントノ二倍强）

無宗教其他　十八萬

（六）洪牙利（人口、七、九八四、五五八）

カトリック　五百二十八萬七千六百八十六（優勢）

プロテスタント　二百十七萬〇七百八十三

希臘教徒　五萬一千

ユダヤ教　四十七萬三千

（七）チエッコスロバキヤ（人口、一三、六一三、一七二）

カトリック　一千〇九十二萬〇三百七十六　（絶對多數）

プロテスタント　九十九萬〇三百十九

希臘教　八十萬

ユダヤ教　三十五萬四千三百四十二

同教徒　五十四萬八千百三十五

（八）波蘭（人口、二八、八八一、〇〇〇）

カトリック　二千百八十三萬八千五百九十一（絶對多數）

プロテスタント　百〇一萬四千五百七十七

希臘教　三百〇三萬二千五百

ユダヤ教　二百八十四萬九千〇三十

同教徒　六千

（九）リトアニア（人口、二、一四二、〇二四）

カトリック　百六十萬　（絶對多數）
プロテスタント　八萬六千
希臘教　十七萬三千
ユダヤ教　二十八萬一千

（一〇）白耳義（人口、七、九五二、〇七七）
カトリック　七百九十萬　（殆ト全部）
プロテスタント　二萬八千
ユダヤ教　一萬四千

（一一）ルクセンブルグ（人口、二八五、一〇五）
カトリック　二十七萬五千九百五十二　（殆ト全部）
プロテスタント　四千〇一
ユダヤ教　千七百七十一
無宗教其他　三千八百

（一二）モナコ（人口、二三、四一八）

カトリック　二萬三千　（殆ト全部）

（一三）リヒテンスタイン（人口、一一、五〇〇）

カトリック　一萬　（殆ト全部）

プロテスタント　一千五百

（一四）大英國屬領アイルランド自由國及ジブラル、タルマルタ島

（人口、三、二一六、九九六）

カトリック　三百〇三萬四千八百六十四　（殆ト全部）

プロテスタント　八萬一千八百〇二

（一五）アンドル（人口、五、二三一）

全部カトリック

（一六）セントマリン（人口、一三、〇一三）

全部カトリック

丙、プロテスタント優勢諸國

（一）大英帝國（人口、四五、二〇三、五〇〇）

（一二）ホヤロ（ペロ、二二、四一ペ）

無教徒　二千ペロ

ルタ教　千カロカ十一

ソロヤヒヤソヤ　四千〇一

ヤマコシヤ　二千カ萬四千七百四十二　（殆ト全部）

（一一）ラヤカシヤラタ（ペロ、二ペ四、一〇四）

ルタ教　一萬四千

ソロヤヒヤソヤ　二萬ペ千

ヤマコシヤ　カ百ヲ十萬　（殆ト全部）

（一〇）ロ日教（ペロ、カ、ヲ四二、〇カカ）

ルタ教　二千ペ萬一千

希臘教・　千カ萬二千

ソロヤヒヤソヤ　ペ萬ペ千

ヤマコシヤ　百ペ十萬　（殆ト全部）

プロテスタント　三千九百二十萬
カトリック　二百五十三萬
ユダヤ教　三十萬
無宗教其他　二百十四萬（比較的多數ナルニ注意スヘシ）

（二）獨逸（人口、六三、一八四、三八三）
プロテスタント　四千〇二十二萬六千百四十九（全人口ノ三分ノ二）
カトリック　二千〇七十四萬七千九百八十五（全人口ノ一分ノ一）

（三）瑞典（人口、五、九〇四、四八九）
プロテスタント　五百八十九萬三千六百五十八（殆ト全部）
カトリック　三千四百二十五
ユダヤ教　四百六千六十九
無宗教其他　九百三十七

（四）諾威（人口、二、七九七、八二七）
プロテスタント　二百七十三萬三千五百九十九（殆ト全部）

ルーマニア　二百九十三萬三千五百九十九（勢力伯仲）

（四）露西亞（人口、二、九九、八二七）

無宗教其他　八百三十七

ユダヤ教　四百六十六

カトリック　三千四百二十五

プロテスタント　五百八十萬三千六百五十八（勢力伯仲）

（三）獨逸（人口、五、六〇四、四八八）

無宗教　二千〇九十七萬四千七百八十五（全人口三分の一）

プロテスタント　四千〇二十二萬六千百四十九（全人口三分の二）

（二）佛蘭西（人口、六三、一八四、三八三）

無宗教其他　二百十四萬（勢力伯仲）

ユダヤ教　三十萬

カトリック　二百五十三萬

希臘教　三百九十六萬

（ノ分の一）

カトリック　三千二百

希臘教　一萬八千二百〇四

ユダヤ教　一千

無宗教　一萬六千九百九十九

（五）瑞西（人口、三、九七八、〇〇〇）

プロテスタント　二百二十三萬〇五百九十七

カトリック　百五十八萬五千三百十一

ユダヤ教　二萬〇九百七十九

無宗教其他　四萬三千四百三十三

（六）和蘭（人口、七、六二五、九三八）

プロテスタント　三百九十八萬三千百〇七

カトリック　二百八十三萬六千三百〇一（勢力伯仲）

ユダヤ教　十一萬五千二百二十三

無宗教其他　六十九萬

無宗教其他　六十六萬

ユダヤ教　十一萬五千二百二十三

希臘教徒　二百八十三萬六千三百〇一（殆ト全部）

ロシヤ教　三百九十八萬三千百〇七

（六）ポーランド（人口、九、六二五、九三八）

無宗教其他　四萬三千四百三十三

ユダヤ教　二萬〇九百七十九

ロシヤ教　百五十八萬五千三百十一

（五）ルーマニア（人口、七、九八七、〇〇〇）

無宗教　二百二十三萬〇五百九十七

ユダヤ教　一萬六千九百九十九

一千

希臘教徒　一萬八千二百〇四

ロシヤ教　三千二百

（七）ブルガリヤ（人口、三、四七七、三九〇）

プロテスタント　三百二十四萬四千六百七十八（殆ト全部）

カトリック　二萬三千四百五十四

希臘教徒　五百三十五

ユダヤ教　五千四百九十七

無宗教其他　十八萬三千

（八）ダンチヒ自由市（人口、三八三、九九五）

プロテスタント　二十二萬二千八百六十八

カトリック　十四萬〇七百九十七

ユダヤ教　九千二百二十九

無宗教其他　一萬一千〇九十一

（九）ラトヴィア（人口、一、八八三、一八九）

プロテスタント　百二萬（絶對多數）

カトリック　四十一萬六千九百

希臘教　二十五萬六千二百九〇
ユダヤ教　九萬五千
無宗教其他　九萬四千五百

（一〇）エストニア（人口、一、一一五、〇〇〇）
プロテスタント　八十七萬五千三百
カトリック　二千二百三十
希臘教　二十一萬一千八百六十
ユダヤ教　四千四百六十
無宗教其他　二萬七千

（一一）フインランド（人口、三、五五八、二二〇）
プロテスタント　三百四十三萬五千五百二十三（殆ト全部）
カトリック　二　千
希臘教　五萬九千五百七十一
ユダヤ教　千六百九十九

ルーテル教　四十一萬六千六百
ギリシヤ教　百二人（殆ど無し）

（一二）ベルギー（人口、一、八八三、一八五）
無宗教其他　一萬一千〇六十一
ユダヤ教　六千二百三十六
ルーテル教　十四萬〇七百七十七
ギリシヤ教　二十二萬二千八百六十八

（一三）ポーランド自由市（人口、三八三、六五）
無宗教其他　十八萬三千三
ユダヤ教　五千四百六十七
希臘教　五百三十五
ルーテル教　二萬三千四百五十四
ギリシヤ教　三百二十四萬四千六百七十八（殆ど全部）

（一四）ドイツ（人口、三、四六、三六〇）

無宗教其他　五萬八千

（一二）アイスランド（人口、九八、三七〇）

プロテスタント　九萬七千九百〇七（殆ト全部）

カトリック　四百六十三

丁、希臘教優勢諸國

（一）ルーマニア人口、一七、五〇〇、〇〇〇）

希臘教　九百七十萬

カトリック　二百五十六萬

プロテスタント　百三十萬

ユダヤ教　六十五萬

回教徒　十六萬

無宗教其他　三百十九萬（比較的多數）

（二）ユーゴースラヴィア（人口、一二、〇一七、三二三）

ギリシャ教　五百六十萬二千二百二十七

カトリック　四百七十七萬六千百五十七（勢力伯仲）
プロテスタント　二十一萬六千八百四十七
ユダヤ教　六萬四千百五十九
回教徒　百三十三萬七千六百八十七（比較的多數）
無宗教其他　一萬九千五百二十六

（三）希臘（人口、六、二〇四、六八四）
ギリシャ教　五百八十九萬（絶對多數）
カトリック　六萬
プロテスタント　二千
ユダヤ教　六千
回教徒　二十四萬四千

（四）ブルガリヤ（人口、五、四八三、一二五）
ギリシャ教　四百〇六萬一千八百二十九（絶對多數）
カトリック　六萬二千

プロテスタント　五千六百十七
ユダヤ教　四萬三千二百三十二
回教徒　六十九萬〇七百三十四（比較的多數）
無宗教其他　五十七萬〇七百八十四（同右）

戊、回教徒優勢諸國

（一）歐羅巴土耳古（人口、一、一三九、三五〇）

回教徒　七十三萬
ギリシャ教　三十萬
カトリック　三千五百
プロテスタント　二千二百五十八
ユダヤ教　七萬

（二）アルバニヤ（人口、八三三、六一八）

回教徒　五十六萬二千六百七十五
ギリシャ教　十八萬一千〇五十一

カトリック　八萬八千七百三十九
ユダヤ教　九十九
ソヴイエート露西亞（人口、一〇二、七三〇、八二二）
カトリック　百六十萬
プロテスタント　三百萬
ギリシャ教　九千〇二十八萬四千五百二十八（絶對多數）
ユダヤ教　四百萬
回教徒　三百八十四萬六千二百九十四

右統計ニ就テ見ルニ歐洲ニ於テハフランス、イタリー、スペイン等南方所謂ラテン系諸國ハカトリックニシテイギリス、スエーデン、ノールウェー等北方所謂ノルマン系諸國カプロテスタント。而シテドイツ、オーストリア、スイス等中歐諸國ハ兩派併立ノ形ヲナシ更ニロシア及バルカン等所謂スラブ系諸國カギリシャ教ナルコトヲ知ル。乍然ロシア帝國ハソヴエート革命ニヨリ完全ニ反宗教國トナリ

從來モスコーニ本山ヲ置キ帝政ロシアノ政治的勢力ニヨツテ維持セラレタルギリシヤ教ハ根柢的ニ破壞サレタル爲現在バルカン方面ノ回教ハ早晩自滅ノ外ナキモノト見ラレ又他方所謂プロテスタントト稱スモ其内容千派以上ニモ分裂シヲリ相互間ニ何等ノ連絡、協力ナク、從ツテプロテスタントト云フモ要スルニルーテル以後ノ非カトリツク的基督教派ノ總稱ニシテ其ノ總數ヲ一括スルモプロテスタントソノモノノ勢力ヲ表示スルコトニナラサル點ニ留意セサルヘカラス

癸、プロテスタント分裂ノ最モ甚シキハ北米大陸ナルカ次ニ北米合衆國及加奈陀ノ宗教統計ヲ掲ク

アメリカ合衆國宗教統計

總人口ハ一九二〇年調　一〇五、七一〇、六二〇

一九三〇年調　一二二、七七五、〇四六

但シ本宗教統計ハ一九二六年商務省調査ニ據ル

カトリック	一八、六〇五、〇〇三
ユダヤ教	四、〇八一、二四二
ギリシヤ教	二五九、三九四
（次ニプロテスタント諸派中主ナル者ノミヲ掲ク）	
バプテイスト諸派	八、四〇〇、九二二
メソヂスト教會諸派	八、〇七〇、六一九
ルーテル教會諸派	三、九六六、〇〇三
プレスビテリアン教會諸派	二、六二五、二八四
エピスコパル教會	一、八五九、〇八六
クリストノ使徒教會	一、三七七、五九五
組合派教會	八八一、六九六
改良派教會諸派	六一七、五五一
モルモン教派	六〇六、五六一
合同兄弟教會（ユーナイテッドプレスレン）	三九五、八八五

合同長老教會（プレスビテリアン）	三、八八五	三、八五五
合同メソヂスト教會	六、〇六一	六、〇六一
基督教會	六、一七五	六、一七五
聖公會	八、八一六	八、八一六
聖公會	一、三七五	一、三七五
聖公會	一、八五〇	一、八五六
聖公會	二、六二五	二、六二四
聖公會	三、六六〇	三、六六〇
聖公會	八、〇七〇	八、〇七一
聖公會	八、四〇〇	八、四〇二
（ペンテコステ派中五七教会ヘ分ル）		
聖公會	二五、六三四	二五、六三四
聖公會	四、〇八一	四、〇八一
聖公會	一八、六〇五	一八、六〇三

北米福音教會（エバンジェリカル。シノッド）	三一四	五一八
クリスト、サイアンティスト	二〇二	〇九八
アドベンティスト諸派	一四六	一七七
クリスチャン、コンネクション	一一二	七九五
フレンド教會	一一〇	四二二
ユニテリアン	六〇	一五二
ユニバーサリスト	五四	九五七
（以下省略）		

戻、加奈陀宗教統計（一九二一年調）

總人口	一〇、三七六	七八六
カトリック	四、〇九八	五四六
ユーナイテッド教會	二、〇一六	八九七
聖公會	一、六三五	三二一
プレスビテリアン	八七〇	四八二

沈E45

ソフトカリヤンケン	＜カ〇、五＜二
五　八　合	一、＜二四、二二一
リートムドシャ製合	二、〇一＜、＜ち力
シャンシン	五、〇ち＜、四五＜
鉄　＜　ロ	一.〇、二力＜、力＜＜

昭、五年九月中製造表（一ち二一分量

（淡下合名）

リリスーシンマ	一四五、ち四力
リリヤンケン	＜.〇、一ち二
ソフマー製糸	一一〇、五二二
ゲンスイトン、リンキクツュン	一一二、力ち四
ヤキムシヤムマ毛皮	一五＜、一力力
クンマ、ヤムケンヤムマ	二〇四、〇ち＜
共栄産業製品（ゴム、ケイシン　リスンツリン）	二一五、ち一＜